

中学部（第2学年） 生活単元学習 授業案

日時 令和3年11月25日
10:35～11:50
場所 YYルーム
中学部2年1組教室
授業者 T1 深瀬真智
T2 佐藤史也
T3 菅井奈美
T4 富田真矢
T5 青木雅子
T6 鈴木 誠

1 単元名 「音読劇をしよう」

2 期待する姿

- ・自分の役割や出番が分かり、自分から音読劇に取り組む姿。
- ・登場人物になりきって音読をしたり、劇をしたりして工夫して発表する姿。
- ・友達や教師と協力したり、認め合ったりしながら、意欲的に活動に取り組む姿。

3 単元計画について

(1) 生徒および単元のテーマについて

- ・中学部第2学年は男子5名、女子3名である。学習面、生活面において実態差は大きい
が、友達と一緒に活動することが好きな生徒が多い。生徒の興味関心を尊重し、自己決定
の機会を設けることで、自分から意欲的に活動に取り組める生徒たちである。前単元、「音
楽会をしよう」では、3つのパートに分かれて楽器を担当し、校歌の合奏を発表した。そ
れぞれのパートの役割を果たしながら、友達と一緒に合奏する楽しさや、発表の緊張感な
どを味わった。また、単元「身近な地域について学ぼう」では、置賜地域を身近な地域と
して、興味を持てるように高畠町出身の浜田広介について調べたり、読み聞かせを聞いた
りして浜田広介の作品に触れた。自分から短い文を音読したり、感想を発表したりと、意
欲的に学習に参加する姿が見られた。
- ・本単元は、「音読劇をしよう」である。既習した浜田広介の作品のひとつである「ない
たあかおに」を題材に、音読をしてストーリーを進めていく音読グループと、身振り
や、簡単なせりふで登場人物を演じる劇グループに分かれて取り組む。また、場面の
移り変わりでは、全員でダンスを踊る活動を取り入れ一体感を持ちながら全員で音読
劇を演じる。単元の終盤には発表会を設定し、保護者や、中学部の友達を招いて音読
劇を披露する。発表会に呼びたい人を考えたり、招待状を作ったり、準備の活動にも
分担しながら取り組む。
- ・「ないたあかおに」は朝学習で音読や漢字調べに取り組んでいる生徒もおり、生徒にと
って身近な作品の一つである。また、登場人物が少なく、分かりやすい物語文になって
いるため、生徒にとってイメージが持ちやすい。音読劇は、台本を見ながら一人で読ん
だり、声をそろえて一斉に読んだりと場面によって様々な読み方をするができる。
また、音読だけでなく、今まで学習したことや、得意なことを劇に取り入れたり、小道
具を作って劇で使ったりと一人一人が活躍できる場面を設定できると考えた。仲間と劇
を作り上げる中で、協力したり、認め合ったりしながら自分から音読劇に取り組んだ
り、登場人物になりきって音読をしたりする楽しさを味わってほしい。
- ・本単元の導入では、音読劇についてイメージや見通しが持てるように音読劇の映像や
教師の音読劇の手本を見る。また、意欲的に練習や発表に取り組めるように音読の分担

や劇の配役は、自分でやりたい役を決める。自分の得意なことを劇の中で生かしたり、披露したりすることで自分から音読劇に取り組むことができると考える。また、お客様を招待して見てもらい、褒められたり、喜ばれたりすることで達成感が持てると思う。音読については、叙述を正確に読み取り、おおまかな話の内容や登場人物の気持ち分かるように、挿絵のペープサートを用いて、動作化をしながら音読をする学習に取り組むようにする。登場人物の気持ちや物語の雰囲気が音読劇を見ている人に伝わるように、登場人物の気持ちに着目し、登場人物になりきって音読劇ができるようにする。そのために声の大小や、速さ、簡単な身振りを入れた教師の読み聞かせを聞く時間を設定する。また、全員が自信を持って発表したり、一緒に活動する友達を意識したりすることができるように、グループ毎の練習の後に集まり、お互いに発表し合う時間を設け、発表した友達へ向けて感想や良くなった所などを伝えるようにする。毎日繰り返し練習に取り組み、お互いに発表し合うことで友達や自分の良い所に気付き、発表への自信につながられるようにしたい。音読劇の成功に向けて、友達や教師と活動しながら、繰り返し音読劇に取り組み、失敗したり、緊張したり、思い通りにならないことがあっても活動から逃げずに前向きに取り組めるように、音読劇への成功をイメージしたり、音読劇に来てくれる人を意識したりできるように支援をする。更に、6校時には、音読劇をするイメージや、「成功させたい。」という思いを持って取り組むことができるように、音読劇に招待したい人を自分たちで考えたり、招待状を書いて渡しに行ったりする活動を設ける。音読劇に友達や保護者を招待することで、自分から練習に取り組んだり、より良い音読劇になるように工夫したりすることを期待している。

(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業づくり、手立ての工夫

<主体的な学び>

- ・自分の役割が分かり、練習に取り組んだり発表したりすることができるように、配役は自分で選び、決めるようにする。
- ・「音読劇を成功させたい。」という思いを持って音読劇に取り組めるように、身近な友達や、教師、保護者を招待する。
- ・安心して自分から活動することができるように、今まで学習した内容を取り入れたり、得意なことを生かしたりできるような活動を取り入れる。

単元の期待する姿の実現

<対話的な学び>

- ・自分や友達の良い所に気付き、お互いの頑張りを認め合いながら音読劇に取り組むことができるように、練習の成果をお互いに見合ったり、発表したりする場面を多く設定する。また、生徒がお互いの良い所に気付くことができるように、その都度、教師が価値付けをする。
- ・登場人物の心情を理解しながら音読に取り組んだり、雰囲気を感しながら劇を演じたりすることができるように、教師とやり取りをしながら一緒に音読劇に取り組む。

<深い学び>

- ・おおまかな話の内容が分かり、取り組むことができるように、挿絵やペープサートを見せたり、自分で操作する活動を取り入れたりする。
- ・登場人物の気持ちを考えたり、気付いたりして登場人物になりきって発表することができるように、教師の読み聞かせを聞いたり、手本を見たりする時間を設定する。

(3) 活動内容および日程計画

4

日時	生徒の動き		
	朝学習	3・4校時	6校時
11/17 (水)	・絵本の読み聞かせ (劇グループ) ・音読練習、読み取りの学習等 (音読グループ)	・導入 ・授業日程、内容の確認 ・役割分担	
11/18 (木)		・練習①	
11/19 (金)		・練習② ・ダンスについて話し合い	○音読練習や小道具作りなど(グループ毎)
11/22 (月)		・ダンス ・練習③	○音読練習や小道具作りなど(グループ毎)
11/24 (水)		・ダンス ・練習④	○招待状作り
11/25 (木) 本時		・ダンス ・練習⑤	○招待状作り
11/26 (金)		・ダンス ・練習⑥	○招待状を渡しに行く
11/29 (月)		・ダンス ・練習⑦	○音読練習や小道具作りなど(グループ毎)
11/30 (火)		・リハーサルをする。 ・アドバイスを聞く	○音読練習や小道具作りなど(グループ毎)
12/1 (水)		・ダンス ・練習⑧	○音読劇発表 (中学部生徒)
12/2 (木)		・ダンス ・練習⑨	○音読劇発表 (保護者)
12/3 (金)		・振り返り	

- ・一日を通して「ないたあかおに」のテーマに浸れるようにする。
- ・リハーサルでは中学部の教師に見てもらい、アドバイスをもらう。

5 本時の計画

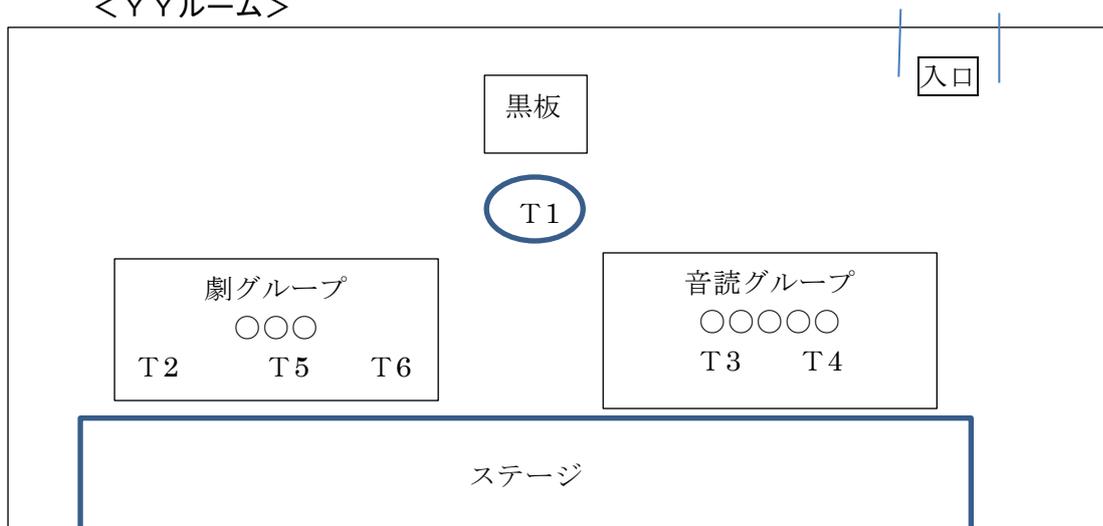
(1) 本時の期待する姿

- ・自分の役割が分かり、自分なりに工夫しながら音読劇に取り組む。
- ・友達や教師と一緒に音読劇に取り組む。

(2) 展開

時配	生徒の活動	教師の動き
10:35	○YY ルームに集合する。 ・本時の活動を確認し、見通しを持つ。	・自分の役割や、同じグループの友達に分かるようにグループ毎に座る。 ・見通しが持てるように本時の活動を視覚的に示す。
10:45	○ダンスをする。	・音読劇に対する意欲や期待が持てるように楽しい雰囲気づくりをする。
10:55	○グループ毎に練習をする。 ・音読・・・2年1組教室 ・劇・・・YY ルーム ○グループ毎に今日の目標や練習箇所を確認する。	・前向きに活動に取り組めるように、前日練習したことや、できたことを確認する。 ・前日の練習を踏まえて、今日頑張ることを確認する。
11:15	○通し練習をする。	・振り返りで活用できるようにビデオ撮影をする。
11:35	○録画を見る。	・友達の良い所や上手な所に着目し、発言できるように支援する。
11:40	○振り返り	・今日できたことや明日の目標などを考えられるように支援する。

(3) 場の設定と配置について <YYルーム>



(4) 本時の個別の期待する姿と手立ての工夫

名 前		Aさん	
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の音読をよく聞いて、自分の出番で音読する。 ・ 文章のまとまりを意識しながら、正確に音読する。 ・ 見てもらうことを意識して意欲的に活動に取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の音読をよく聞く。(知・技) ・ 文章のまとまりが分かる。(知・技) ・ 自分の出番が分かり、音読をする。(思・判・表) ・ 相手に伝わるように声の大きさや読む速さを工夫する。(主) 	
本単元に関わる支援内容		生単①③自立①	主な各教科との関連 国語1段階イウ
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て
音読	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝学習の音読では、書いてあることと違うことを読んだり、一文字一文字読んだりする。教師が読み方を伝えたと正確に読み直すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の出番が分かり、音読する。 ・ 文節の区切りを意識しながら練習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出番が分かるように、台本に色を付けたリ、線を引いたりして強調する。 (見通しやめあて) ・ 文節の区切りが意識できるように、音読の手本を示したり、まとまりで区切って読めるように印を付けたリする。 (教材や用具)

名 前		Bさん	
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ないたあかおに」の話のおおまかな内容を理解し、自分が演じるところが分かり、教師と一緒に音読劇に取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面毎に話の主な内容が分かる。(知・技) ・ 自分の出番のところで演じることができる。 (思・判・表) ・ 自分から音読劇に取り組むことができる。(主) 	
本単元に関わる支援内容		生単①②③	主な各教科との関連 国語1段階(1)ア
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て
劇	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなと一緒に学習することを楽しんでいる。また、みんなに自分を見てもらうことが好きである 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鬼の役になり、小道具などを使って教師と一緒に音読劇の練習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話の大まかな内容を理解することができるように、絵などを見せながら読み聞かせをする。 (見通しやめあて) ・ 自分の得意なことを生かし、自分から活動することができるように音読劇に関係する小道具などを作り、それを使って練習をする。 (教材や用具) ・ どのように演じたらよいか分かるように、教師が手本を示す。 (友達や教師との関わり) ・ 進んで演じることができるように、繰り返し練習をする時間を設定する。 (工程や手順)

名 前		Cさん		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> 話の内容を考えて、場面に応じて声に強弱を付けて音読する。 お客様に聞こえる声の大きさを音読する。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分が読む部分の分り、前の生徒が読み終わった後に自分で音読を始める。(知・技) 自分が読む部分の内容を考えて声に強弱を付けたり、お客様に聞こえる声で音読したりする。(思・判・表) お互いに様子を見合って、友達と意見交換したり、友達の良い所をまねしたりして自分の音読を改善する。(主) 		
本単元に関わる支援内容		生単①③	本単元に関わる支援内容	国語 1 段階 C ア
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
音読	<ul style="list-style-type: none"> 発表会や係で前に出る活動では、繰り返し練習すると大きい声で音読できるが、本番や自信がないと声が小さくなってしまう。 朝学習で丸読みをするときに、自分が読む所が本当に合っているのか自信がないと黙り込んでしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が読む部分の分り、強弱を意識して読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が読む部分が一目で分かるように、担当ごとに文字の色を変える。(教材や用具) 強弱を付ける部分の分り、場面ごとに内容を整理して教師と確認して強弱の印を付ける。(教材や用具) 自分で声の大きさなどを教師と確認して自己評価できるように、音読している様子をタブレットで撮影し、撮った映像を見ながら、声の大きさなどを確認し、教師からも称賛やアドバイスなどの評価をする。(友達や教師との関わり) 	

名 前		Dさん		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> 自分の出番のときに自信を持って音読をしたり、ダンスをしたりする。 友達や教師と一緒に音読劇の練習や準備に取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や発声の仕方に気を付けて読む。(知・技) 声の大きさや、速さ、間の取り方に気を付けて読む。(思・判・表) 作者について知る。(知・技) 曲に合わせて、身体を十分に動かしながらダンスをする(思・判・表) 友達の音読を聞いて感想を伝えたり、褒めたりしながら音読劇に取り組む。(主) 		
本単元に関わる支援内容		生単②④自立①	主な各教科との関連	中学部国語科 1 段階ア (イ) 体育科 1 段階 G アイウ 社会科 1 段階 (ア) アイ
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
音読	<ul style="list-style-type: none"> 自分の読む場所が分からなくなることがあったが繰り返し取り組むことで、文を目で追って読むことができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の出番が分り、音読やダンスに取り組む。 声の大きさや速さに気を付けて音読をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の出番が分かるように、台本に色を付ける。(教材や用具) 姿勢や、声の大きさなどを確かめられるように動画を撮ったり、録音したりして一緒に振り返る。(友達や教師との関わり) 聞きやすい音読になるように教師が範読をしたり、文節や一文ずつの追い掛け読みをしたりする。(友達や教師との関わり) 	

名 前		Eさん	
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力	
<ul style="list-style-type: none"> 自分の登場する場面を理解して、教師と一緒に劇をする。 教師と一緒に、自分が演じる劇の人物の雰囲気や感情を感じながら、活動に取り組む。 教師と一緒に、劇の活動に楽しく取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の登場する場面を理解して、劇に取り組む。(知・技) 登場人物の感情を教師と一緒に劇を演じながら、感じる。(思・判・表) 友達や教師と一緒に、意欲的に音読劇に活動に取り組む。(主) 	
本単元に関わる支援内容		生単① 自立活動①	主な各教科との関連 国語 1 段階ウ
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て
劇	<ul style="list-style-type: none"> 単元「音楽会をしよう」では、教師と一緒に、楽器の鳴らし方やリズムを確認しながら、楽しく活動に取り組むことができていた。人前に出ることは苦手であるが、見通しが持てたり、友達や教師の言葉掛けを受けたりすると、人前でも発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場するタイミングを理解して、自分から劇に参加し、活動を楽しむ。 教師と一緒に、自分が演じている登場人物の雰囲気や感情を感じながら、劇を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の登場する劇の場面が分かるように、体を動かすところや登場する場面などの見本を示す。(見通しやめあて)(場の配置) 劇の流れの見通しが持てるように、場面ごとの写真を示しながら、確認するようにする。(教材や用具)(工程や手順)(見通しやめあて) 登場人物の感情や雰囲気を感じることができるよう、表情をまねて伝えたり挿絵やペープサートを用いたりしながら、一緒に確認したりする。(友達や教師との関わり)

名 前		Fさん	
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力	
<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割が分かり、教師と一緒に劇をする。 教師と一緒に、自分の役の雰囲気や感情を知りながら、活動に取り組む。 教師と一緒に、音読劇での役割に楽しく取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割が分かり、劇に取り組む。(知・技) 登場人物の雰囲気や感情を、教師と一緒に劇を演じながら知ることができる。(思・判・表) 自分のやりたい役を選ぶ。(主) 使いたい道具を選び小道具を作る。(知・技) 	
本単元に関わる支援内容		生単① 自立活動①	主な各教科との関連 国語 1 段階ウ 小学部図画工作 1 段階ア
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て
劇	<ul style="list-style-type: none"> 絵本は好きで読み聞かせでは集中して聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割が分かり、音読劇の活動に自分から取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役の場面の内容が分かるようにその場面の読み聞かせをする。(見通しやめあて) その場面の役を演じることができるよう、友達との関わりを設ける。(友達や教師との関わり) 使いたい道具を選ぶことができるように道具の実物を示す。(教材や道具)(活動の選択)

名 前		Gさん	
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力	
<ul style="list-style-type: none"> 自分の出番のときに自信を持って音読をしたり、ダンスをしたりする。 友達や教師と一緒に音読劇の練習や準備に取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や発声の仕方に気を付けて読む。(知・技) 作者について知る。(知・技) 抑揚を付けて音読をする。(知・技) 登場人物の気持ちから、読む速さや声の大きさなどに気を付けて読む。(思・判・表) 場面に合った曲を選んだり、意見を出したりしながらダンスの曲を決めたり、踊ったりする。(思・判・表) 友達の音読を聞いて感想を伝えたり、褒めたりしながら音読劇に取り組む。(主) 	
本単元に関わる支援内容		生単②③④自立①	主な各教科との関連 国語科 1 段階ア (イ) 体育科 1 段階G アイウ 音楽科 1 段階A (ア) 社会科 1 段階 (ア) アイ
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て
音読	<ul style="list-style-type: none"> 発表の場面では、緊張や不安から泣き出したり、言うまでに時間が掛かったりすることがあった。 すらすら読むことができた。 教科書に書いてある内容から登場人物の気持ちを推測することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分から音読をしたり、大きな声で音読をしたりする。 読む速さや、声の大きさを変えながら読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 自信を持って音読ができるようにその都度称賛したり、肯定的な言葉で伝えたりする。(友達や教師との関わり) 登場人物の気持ちに着目できるようにせりふに表情を書き入れたり、線を引いたりする。(見通しやめあて)(友達や教師との関わり) 姿勢や、声の大きさなどを確かめ、自己評価ができるように動画を撮ったり、録音したりする。(友達や教師との関わり)

名 前		Hさん	
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力	
<ul style="list-style-type: none"> ・友達の音読をよく聞いて、自分の出番で音読する。 ・登場人物になりきって、気持ちを込めて音読する。 ・友達の良かったところや次に自分が工夫したいところを伝える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友達の音読をよく聞く。(知・技) ・自分の出番が分かり、音読をする。(思・判・表) ・登場人物の気持ちになって、自分だったらどんな気持ちか考える。(知・技・表) ・友達の良かった所や、次に自分が工夫したいことを考え、積極的に伝える。(主) 	
本単元に関わる支援内容		生単①②③⑤	主な各教科との関連 国語 1 段階イウ
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て
音読	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習の音読では、文章のまとまりで読むことができる。抑揚を付けることが難しく、平坦な読み方で音読している。登場人物の気持ちを理解し読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・強弱や抑揚を付けながら気持ちを込めて音読練習をする。 ・友達や自分の良かった所を自分の言葉で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・悲しい気持ちや嬉しい気持ちなど分かるように色分けしたシールを貼る。 (教材や教具) ・どんな工夫をしたら良いか分かるように友達や教師に聞いてもらい感想を聞く時間を設ける。 (見通しやめあて) (友達や教師との関わり) ・友達や自分の良かった所を伝えられるように教師とやり取りする時間を設ける。 (友達や教師との関わり)

(5) 評価

- ・自分の役割が分かり、自分なりに工夫しながら音読劇に取り組むことができたか。また友達や教師と一緒に音読劇に取り組むことができたか。